

Quest® NetVault® Backup Plug-in for VMware 12.0 改訂版 1

リリース・ノート

2018年5月

2018年6月改訂

これらのリリース・ノートには、Quest® NetVault® Backup Plug-in for VMware リリースに関する情報が記載されています。

トピック:

- このリリースについて
- 新機能
- 拡張機能
- 解決済みの問題
- 既知の問題
- システム要件
- 製品ライセンス
- アップグレードおよびインストールの手順
- その他のリソース
- グローバリゼーション
- 企業情報

このリリースについて

Quest NetVault Backup (NetVault Backup) Plug-in for VMware (Plug-in for VMware) 12.0は、新機能が搭載されたメジャー・リリースになります。製品の詳細なドキュメントは下記サイトからご覧いただけます。
<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents>

新機能

Plug-in for VMware 12.0の新機能: イメージ・レベルの分散型バックアップとリストアに対応するようになります。複数のジョブを使用可能なすべてのVMwareバックアップ・プロキシで実行できるようになります。この負分散機能は、物理マシンと仮想マシンが混在する環境で動作するほか、異なるオペレーティング・システムが混在する環境でも動作します。(DNVMWARE-1793)

拡張機能

次は、Plug-in for VMware 12.0に実装されている拡張機能のリストです。

表 1. 一般的な拡張機能

拡張機能	問題 ID
イメージ・レベルのリストアが正常に完了し、仮想マシンが別のリソース・プールに割り当てられた場合の情報を記録するようログが更新されました。	DNVMWARE-496
VMware ESXi や VMware vCenter Server でカスタム・ポートを使用できるようサポートが追加されました。デフォルト・ポートの 443 も引き続き使用可能です。	DNVMWARE-1761
VDDK (Virtual Disk Development Kit) のサポートが 6.7 に更新されました。	DNVMWARE-1841
カタログ検索のサポートが追加されました。	DNVMWARE-1843

解決済みの問題

本リリースで対処された問題は以下のとおりです。

表 2. 解決済みの一般的な問題

解決済みの問題	問題 ID
リソース・プール・レベルでのバックアップ選択で、プール内の仮想マシンをバックアップできなかった問題が修正されました。	DNVMWARE-1043 (22030)
バックアップ・プロセス中に、CBT (Changed Block Tracking) 以外のユーザーに「Invalid service instance content」メッセージが表示される問題が修正されました。	DNVMWARE-1296
ファイル・レベルのインデックス作成中に、大量のファイルが含まれているバックアップ・ジョブが原因でスタック・オーバーフロー・エラーが発生していた問題が修正されました。	DNVMWARE-1437
NBD モードを使用して 2 テラバイト (TB) のディスクを開くとプラグインが動作を停止する問題が修正されました。	DNVMWARE-1581
ファイル・レベルのバックアップ中に NTFS パーティションを読み込むとプラグインが動作を停止する問題が修正されました。	DNVMWARE-1630
削除された仮想マシンをリカバリするリストア・ジョブ中に、「Failed to get the inventory information for server」というメッセージが表示される問題が修正されました。	DNVMWARE-1655
スタンドアローンの VMware ESXi Server 6.5 の仮想マシンをプラグインで VMware vCenter 6.0 または 6.5 にリストアできない問題が修正されました。	DNVMWARE-1698 (32475)
[スナップショットを作成する仮想マシンの静止] オプションを [バックアップ環境設定] ダイアログ・ボックスで保存できず、すべてのバックアップ・ジョブに適用できない問題が修正されました。	DNVMWARE-1703
バックアップから除外したディスクがリストア可能になる問題が修正されました。	DNVMWARE-1735
ターゲットの仮想マシンで VMware vCenter 5.5 Update 2 を使用しているとバックアップ・ジョブが応答しなくなる問題が修正されました。また、クリーンアップ・プロセスでロックを解除できない問題が修正されました。	DNVMWARE-1737、 DNVMWARE-1745
複数のバックアップ・ジョブが同時に実行されるとプラグインが動作を停止する問題が修正されました。	DNVMWARE-1781、 DNVMWARE-1786

表 2. 解決済みの一般的な問題

解決済みの問題	問題 ID
2.7 TB 以上のディスクを読み込むと out-of-bounds エラーが発生する問題が修正されました。	DNVMWARE-1782
リストア・ジョブが完了せず、「Unexpected element sharing」メッセージおよび「Failed to add VM to target server's inventory」メッセージが表示される問題が修正されました。	DNVMWARE-1792

既知の問題

サードパーティ製品に起因する問題を含め、リリースの時点で確認されている問題の一覧を以下に示します。

表 3. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
データを代替のデータストアにリストアする際、プラグインがそのデータストアの使用の可・不可を確認しません。データストアが使用できる状態で、仮想マシンを格納する十分な空き容量があるか確認してください。	DNVMWARE-18 (1714)
仮想互換モードの RDM (Raw Device Mapping) ディスクが元の RDM ではなく、フラットな .vmdk ファイルにリストアされます。代替手段として、リストア時はこれらの RDM ディスクを除外してください。	DNVMWARE-332 (2371)
vmware.cfg ファイルに格納されている [Custom:MountOperationTimeoutSecs] 設定は、マウント・デーモンが要求に応答するまでの待機時間を決定します。新規インストール中は 600 秒、アップグレード中は 300 秒に初期設定されています。指定時間内にマウント・デーモンが要求を完了できない場合、仮想マシンがマウント状態のままになります。 同時に実行するバックアップ数が多い、またはサーバーの負荷が高い場合は、 [Custom:MountOperationTimeoutSecs] 設定の値を変更して、この問題を回避してください。	DNVMWARE-505 (3131)
VDDK (Virtual Disk Development Kit) では、UTF-8 以外のロケールには対応していません。UTF-8 以外のロケールを使用する Linux ベースのクライアントでは、「Child Process died unexpectedly」エラーを報告して異常終了します。	DNVMWARE-584 (3340)
NetVault Backup Plug-in for Consolidation を使用すると、仮想マシンのイメージ・レベルのバックアップは [セレクション・セット作成] ページには表示されますが、これらのセーブセットを統合できません。	NVBU-3785 (6598、NVG-5474)
X11 または Motif GUI からローカライズ版の仮想マシンを参照すると、名前のエンコードが原因で判読不能な表示になったり、何も表示されなかったりします。	DNVMWARE-664 (13679、 VMW-157)
Plug-in for VMware を使用して仮想マシンのテンプレートをバックアップすることはできません。 対処法 ：テンプレートを仮想マシンに変換します。	DNVMWARE-713 (13728、 VMW-202)
ファイルの断片化を回避するため、Plug-in for VMware ではファイルをディスクにリストアする前にディスク領域の事前割り当てを行います。Linux ベースのシステムでは、ファイルのサイズが 50 MB を超えるとディスク領域は事前割り当てされません。このようなファイルは、スパース・ファイルと同様に処理され、ディスク領域はリストア時に必要に応じて割り当てられます。ディスクに 50 MB を超えるファイルを完全にリストアできる十分な領域がない場合は、ディスクの空き容量がなくなった時点でジョブが失敗します。	DNVMWARE-961 (21755)
ファイル・レベルのインデックス作成プロセスではシンボリック・リンクのインデックスは生成されません。	DNVMWARE-977 (21793)

表 3. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
ファイル・レベルのインデックス作成プロセスでは、ハード・リンクは特殊な方法では処理されず、それぞれ独立したエンティティとしてインデックス・エントリが生成されます。ハード・リンクを含むセーブセットをリストアすると、プラグインは応答しなくなります。	DNVMWARE-978 (21794)
Vmware vSphere 5.1 で NBD 転送モードを使用すると、 読み取りブロックサイズ が大きくなるため、複数のバックアップ・プロセスが同時に実行できなくなることがあります。 対処法 ：SAN または SCSI HotAdd 転送モードを使用するか、 読み取りブロックサイズ を小さくしてください。	DNVMWARE-1430 (28815)
NTFS スパース・ファイルをリストアする場合、実際に割り当てられているデータ実行のサイズがデータ実行の合計サイズより小さいと、リストアされるファイルが破損する可能性があります。	DNVMWARE-1456 (29043)
【仮想マシンの診断】 メソッドでタイムアウト間隔（5 分）内に結果を返すことができない場合、Web サービスのプロセスで次のメッセージが表示されます。「Error: The remote machine: <Name of the NetVault Backup Server> is unavailable」 ダイアログ・ボックスを閉じると、現在の操作を続行することができます。バックグラウンドで、 【仮想マシンの診断】 メソッドによりクリーンアップ・プロセスが実行され、作成されたスナップショットが削除されます。	DNVMWARE-1528 (29795)
メモリーが超過すると、ABM（Active Block Mapping）が有効になっているバックアップが停止することがあります。	DNVMWARE-1584
VMDK（Virtual Machine Disk）を開くのに失敗し、 【データ・ディスクを除外】 オプションが選択されている場合、仮想マシンのバックアップに成功します。	DNVMWARE-1696
vSphere FT（VMware vSphere Fault Tolerance）で保護されている仮想マシンは別の VMware vCenter Server へはリストアできません。	DNVMWARE-1691 (32398)
プラグインの更新をインストールすると、VMware Vstor2 MntApi ドライバが不整合な状態になります。 対処法 ： Windows ベースのプロキシ・サーバーを使用している場合は、VDDK を削除した後にサーバーを再起動してください。サーバーを再起動せずに VMware Vstor2 MntApi ドライバをインストールまたは削除しようとする、エラーが発生することがあります。詳しくは、 http://pubs.vmware.com/Release_Notes/en/developer/vddk/65/vsphere-vddk-65-release-notes.html を参照してください。 プラグインの最新バージョンをインストールする前に、次の手順を完了してください。	DNVMWARE-1697 (32473)
1 プラグインの既存のバージョンを削除します。 2 VMware Vstor2 MntApi ドライバの状態を確認します。 3 ドライバが存在している場合はドライバを削除します。 4 プラグインの最新バージョンをインストールします。	
vSphere 6.5 から、仮想マシンの暗号化に対応するようになりました。ただし、暗号化したディスクのバックアップとリストアには対応していません。	DNVMWARE-1773
プライマリ・ノードのバックアップ・ジョブから除外するサブノードをクリアすると、ジョブが失敗します。データ・センターなどのメイン・ノードを選択し、特定の仮想マシンやフォルダのノードなどのサブノードをクリアした場合、バックアップ・ジョブに失敗し、「バックアップ用の仮想マシンが選択されていません」というエラー・メッセージが表示されます。	DNVMWARE-1832

表 3. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
VMware vCenter Server 6.7 から、代替の vCenter Server 6.0、vCenter Server 6.5、VMware ESXi Server 6.0、または ESXi Server 6.5 への仮想マシンのリストアは失敗します。ハードウェアのバージョンに互換性があるにもかかわらず、次のエラーが表示されます。「仮想マシンをターゲット・サーバーのインベントリに追加できませんでした。」	DNVMWARE-1858、 DNVMWARE-1859、 DNVMWARE-1860
仮想マシンを VVol (VMware Virtual Volumes) データストアにリストアするときは、バックアップに関連付けられているストレージ・ポリシーではなく、VVol に関連付けられているストレージ・ポリシーを使用します。	DNVMWARE-1871

表 4. サードパーティの既知の問題

既知の問題	問題 ID
VMware vCenter Server から電源がオン状態の仮想マシンをバックアップすると、「.nvram」、「.vmx」、および「.log」ファイルのバックアップに失敗することがあります。詳しくは、 http://kb.vmware.com/kb/1019286 を参照してください。	
シン・プロビジョニングのディスクを使用する仮想マシンでスナップショットを作成する際、VMware vSphere (クライアントと基盤のディスクライブラリ) ではディスクをシックとして認識します。詳しくは、 http://kb.vmware.com/kb/1020137 を参照してください。	
仮想マシンの CBT を有効にする時点で、仮想マシンにはスナップショットがない状態ではなければなりません。詳しくは、 http://kb.vmware.com/kb/1033816 を参照してください。	
ESXi 5.x のホストを vCenter Server で管理している場合は、仮想マシンが直接 ESXi ホストに接続されているときに仮想マシンのリストアを行わないでください。この制約は vSphere 5 で導入された機能によるものです。詳しくは、 http://www.vmware.com/support/developer/vddk/VDDK-500-ReleaseNotes.html#knownissues を参照してください。	
バックアップやリストアのため仮想マシンのディスクにアクセスが行われているあいだ、仮想マシンの移行が行われられないようにするため、プラグインでは VDDK API を使用して仮想マシンのロックとロック解除を行います。このオプションはデフォルトでは無効になっています。有効にするには、プラグインの『ユーザーズ・ガイド』を参照してください。現在、ロック機能には、次の既知の問題があります。	
<ul style="list-style-type: none"> 仮想マシンのロックは、API でロックの成功が表示されていても、実際には成功していないことがあります。この問題は VMware で確認中です。このエラーは通常、無視して構いません。 ロックの解除が失敗することがあるのは既知の問題です。この問題は VDDK 5 のリリース・ノートに記載されています。詳細については『VDDK 5.0 リリース・ノート』の「EndAccess sometimes does not reenale migration after PrepareForAccess」セクションを参照してください。 仮想マシンのロック後にプラグインが予期せず終了すると、仮想マシンがロックされた状態のままとなる可能性があり、移行が無効になります。 仮想マシンのロックを削除して移行を有効にする方法については、http://kb.vmware.com/kb/2008957を参照してください。 	
VDDK 5 の問題：	
<ul style="list-style-type: none"> Linux ベースのクライアントでは、同じデータストアで電源がオンの状態の仮想マシンが他にもあるとバックアップが失敗します。 Linux ベースのクライアントでは、バックアップの並列ジョブ (別々のクライアントから実行されるジョブ) が同じデータストアにアクセスするとバックアップが失敗します。 	

表 4. サードパーティの既知の問題

既知の問題	問題 ID
Windows 2012 の仮想マシンでは、ネットワークコピー操作中または操作後にデータの破損が発生することがあります。詳しくは、 http://kb.vmware.com/kb/2058692 を参照してください。	
仮想ドライブのサイズが 2 TB または 2 TB の倍数の場合、ディスクは常に SAN ではなく NBD モードで開かれます。この問題が影響するのは、ハードウェアバージョン 10 (vmx-10) を使用する仮想マシンのみです。 対処法 : 仮想ドライブのサイズを増減させます (例、2.01 TB、3.99 TB など)。	DNVMWARE-1373 (27742)
仮想マシンが vCenter Server の外側でクローン作成されると、元の仮想マシンと同じ UUID が割り当てられる場合があります。このクローンの仮想マシンがバックアップ用に選択されると、バックアップがクローンの仮想マシンではなく、元の仮想マシンで行われる可能性があります。この問題を修正するには、クローンの仮想マシンの UUID を変更する必要があります。仮想マシンの UUID を変更する方法については、 http://kb.vmware.com/kb/1002403 を参照してください。	DNVMWARE-1443 (28921)
プラグイン・バージョン 11.2 以降の vSphere FT (VMware vSphere Fault Tolerance) で保護されている仮想マシンをバックアップするには、ご使用の環境で VMware ESXi 6.0 のビルド番号 4192238 以降を使用する必要があります。非対応ビルドの ESXi ホストを使用している場合は、スナップショット・プロセス中に vSphere FT 保護が無効になる可能性があります。この問題は、VMware ESXi ホストの旧バージョンの問題が原因で発生します。仮想マシンが Windows 2008 以降をゲスト OS として使用し、VMware Tools の VSS プロバイダを使って静止スナップショットを撮る際に発生する可能性が高くなります。詳細については、VMware ナレッジベースの記事 2145664 を参照してください。	DNVMWARE-1623、 DNVMWARE-1671 (31423、32123)
デフォルトではシック・プロビジョニングのディスクに対応していないストレージ・アレイを搭載した VVols (VMware Virtual Volumes) を使用すると、次のエラー・メッセージが出力される可能性があります : Error creating disk Error creating VVol Object。データストアに十分な空き領域がない、またはデータストアが選択したプロビジョニング・タイプに対応できないことが原因の可能性があります。 対処法 : VVols でシック・プロビジョニングのディスク作成を可能にするには、ストレージ・アレイでシック・プロビジョニングを有効にします。詳しくは、 http://pubs.vmware.com/Release_Notes/en/horizon-6-view/horizon-62-view-release-notes.html を参照してください。	DNVMWARE-1712 (32714)
CentOS および Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x : これらのオペレーティング・システムおよびバージョンのいずれかを使用し、 フォールバック転送モード をなしに設定している場合、VMware の問題が原因でバックアップ・プロキシは HotAdd 転送モード で開かず、NBD モードで開くこととなります。	DNVMWARE-1777

システム要件

Plug-in for VMwareをインストールする前に、お使いのシステムが次の表および『Quest NetVault Backup互換性ガイド』(<https://support.quest.com/technical-documents>で入手可能)に記載された要件を満たしていることを確認してください。

表 5. システム要件

要件	詳細
オペレーティング・システム	対応 OS のディストリビューションとバージョンの一覧については、『VDDK 6.7 リリース・ノート』を参照してください。
NetVault Backup のバージョン	Plug-in for VMware 12.0 には、NetVault Backup 11.4.5 以降が必要です。対応プラットフォームに関する情報については、『QuestNetVault Backup互換性ガイド』を参照してください。 https://support.quest.com/technical-documents でご覧いただけます。

i | **メモ:** VDDKをOEM ESXiで使用するには、VMware ESXi Foundation、StandardまたはEnterpriseのライセンスが必要です。このライセンスは、OEMまたはVMwareから直接取得できます。

アップグレードと互換性

Plug-in for VMware 12.0では、NetVault Backup 11.4.5以降が必要です。サポートされるプラットフォームの詳細については、『Quest NetVault Backup互換性ガイド』を参照してください。

- **NetVault Backupのアップグレード後、マウントしている仮想マシンを参照できません:** プラグインのインストール後にNetVault Backupソフトウェアをアップグレードした場合は、そのマシンにプラグインを再インストールする必要があります。再インストールを行わない場合、新しいファイルレベル・バックアップのマウントされた仮想マシンのドライブ・ノードを開くことができません。
- **アップグレード中に「nvvmmount.exe」が実行されていた場合はNetVault Backupサービスを再起動します:** 2.X からのアップグレードの際、「nvvmmount.exe」マウント・プロセスが実行されていた場合は、クライアントでNetVault Backupサービスを再起動します。

製品ライセンス

NetVault Backupサーバー環境でライセンス・キーを取得するには、メインNetVault BackupサーバーのNetVaultマシンIDを確認します。また、OracleやMySQL、PostgreSQL、SQL Server、Exchangeなどのアプリケーション・プラグインを実行しているクライアントのマシンIDも確認する必要があります。

NetVault設定ウィザードを使用して、製品のライセンス・キーをインストールできます。代わりに[クライアント管理]ページからライセンス・キーをインストールすることもできます。

- マシンIDの取得
- 設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール
- [クライアント管理]ページからのライセンス・キーのインストール

マシン ID の取得

- 1 NetVault Backup WebUIを起動します。
- 2 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 4 [クライアント表示] ページで、マシンIDと正確に同じものが [クライアント・サマリ] テーブルに表示されます。

設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション] パネルで、[ガイド付き設定] をクリックします。
- 2 [NetVault設定ウィザード] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンス・キー文字列の入力] ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

[クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 2 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 3 [クライアント表示] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 4 [ライセンスのインストール] ダイアログ・ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。
- 5 ダイアログを終了するには、[閉じる] をクリックします。

アップグレードおよびインストールの手順

プラグインの標準的なアップグレード方法は、プラグインの旧バージョンに対して最新バージョンをインストールする方法です。インストールの手順については、『Quest NetVault Backup Plug-in for VMware ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

Windowsでプラグインのハイブリッド・バージョンをアップグレードするときに、ファイル・レベルのバックアップ操作にプラグインを使用するには、次の作業を記載の順序で実行してください。

- 1 ファイル・レベルの参照またはバックアップ操作に仮想マシンがマウントされていないことを確認します。
ブラウザ・セッションでマウントされている仮想マシンがある場合はアンマウントします。バックアップにマウントされている場合は、バックアップの完了まで待ちます。
- 2 NetVault BackupProcess Viewerから、クライアントで実行している**NetVault VMマウント・デーモン**や**NetVault VMマウント CLI**のインスタンスがないか確認します。
または、Windowsタスク・マネージャを使用して、実行している**nvvmmount.exe**インスタンスがないか確認します。実行しているインスタンスがある場合は、NetVault Backupサービスを再起動します。
- 3 プラグインに設定されている作業ディレクトリに仮想マシンの表示名を使用した名前のサブフォルダが含まれていないことを確認します。
ディレクトリにマウント・フォルダが含まれている場合は、フォルダを手動で削除します。詳しくは、『ユーザーズ・ガイド』を参照してください。クリーンアップのルーチンを完了できなかった場合は、次のマウント操作が失敗し、「A stale mount was found.」エラーが表示されます。
- 4 アップグレード中に「Driver not found」エラーが発生しないようにするには、[アップグレード手順](#)で説明している手順に従います。

アップグレード手順

VDDKは、ファイル・レベルのバックアップや参照操作の実行中は仮想マシンのマウントにカーネル・モードのドライバを使用します。プラグインをインストールすると、Plug-in for VMwareはドライバのサービスを自動的に起動しますが、アップグレードや再インストールを実行する際にサービスが実行されているかどうかは確認しません。

このサービスがクライアントで実行されていない場合、プラグインはマウント要求の完了に失敗するため、「Driver not found」エラーを報告します。

Windowsでプラグインのハイブリッド・バージョンをアップグレードする

- 1 コマンド・プロンプト・ウィンドウを開きます。
- 2 サービスが実行中の場合は停止します。

```
sc stop vstor2-mntapi20-shared
```
- 3 サービスを削除します。

```
sc delete vstor2-mntapi20-shared
```
- 4 サービスが削除されたことを確認します。

```
sc query vstor2-mntapi20-shared
```


サービスが「停止」状態のままになっている場合は、マシンを再起動します。
- 5 プラグインをインストールします。

プラグインのインストール方法については、『Quest NetVault Backup Plug-in for VMwareユーザーズ・ガイド』を参照してください。

その他のリソース

以下から追加情報を入手できます。

- [オンライン製品ドキュメント](#)
- [NetVaultコミュニティ](#)

グローバルゼーション

ここでは、北米以外の地域のお客様に必要な、この製品を英語以外の言語設定でインストールして構成する方法を説明します。このセクションで説明する内容は、他の製品マニュアルに記載されているサポート対象プラットフォームや設定などの情報に代わるものではありません。

本リリースでは、シングル・バイトまたはマルチ・バイトのあらゆる文字セットに対応しています。また、多言語データを使用した同時操作にも対応しています。このリリースを利用できる対象地域は次のとおりです。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

本リリースは次の言語にローカライズされています：中国語（簡体）、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語。

企業情報

弊社の社名は単なる名前ではありません

弊社は、お客様が情報技術をより有効に活用できる方法を常に探しています。そのために、IT管理にかかる時間を節約し、ビジネスの革新に多くの時間を費やすことができるようなソフトウェア・ソリューションをコミュニティ主導で構築しています。データ・センターの近代化とクラウドの早期利用を支援し、データを活用したビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、アクセシビリティを提供します。Questは、革新の一端としてお客様をグローバル・コミュニティに招き入れ、さらに顧客満足度を確保するために努力しながら、お客様の現状に実際にインパクトを与え、誇らしい遺産を残すことができるソリューションを提供し続けています。弊社は新しいソフトウェア会社へと変革することで現状に挑戦しています。弊社は、お客様のパートナーとして、お客様主体でお客様に適した情報技術を設計できるように精力的に努力しています。これは弊社の使命であり、お客様と一緒に取り組みます。新しいQuestへようこそ。お客様は、Join the Innovation™ (革新的な世界への参加)に招待されました。

弊社のブランド、弊社のビジョン。お客様と共に。

弊社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという弊社の主題を表しています。この主題の重要な部分は、Qという文字で始まります。それは完全な円であり、技術的な正確さと強さへの約束を表します。Q自体の中にある空間は、不足している構成要素（つまりお客様）がコミュニティおよび新しいQuestに加わる必要があることを象徴しています。

Questへのお問い合わせ

販売その他に関するご質問については、www.quest.com/jp-jaを参照してください。

テクニカル・サポート用リソース

テクニカル・サポートは、Questの有効な保守契約を締結している場合、または試用版を保有している場合にご利用いただけます。Questサポート・ポータル(<https://support.quest.com/ja-jp>)にアクセスすることができます。

サポート・ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ・ツールがあり、24時間365日ご利用いただけます。サポート・ポータルでは次のことを実行できます。

- サービス・リクエストの送信と管理。
- ナレッジベース記事の参照。
- 製品に関するお知らせへの登録。
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード。
- 入門ビデオの閲覧。
- コミュニティ・ディスカッションへの参加。
- サポート・エンジニアとのオンライン・チャット。
- 製品に関する支援サービスの表示。

本製品に使用されているサードパーティ製品

この製品には、以下のサードパーティ製コンポーネントが含まれています。サードパーティのライセンス情報については、<https://www.quest.com/legal/license-agreements.aspx>を参照してください。アスタリスク(*)が付いているコンポーネントのソース・コードについては<https://opensource.quest.com>を参照してください。

表 6. 本製品に使用されているサードパーティ・ソフトウェアのリスト

コンポーネント	ライセンスまたは承認
libcurl 7.46.0	MIT/X 派生 N/A © 1996-2010, Daniel Stenberg. All rights reserved.

表 6. 本製品に使用されているサードパーティ・ソフトウェアのリスト

コンポーネント	ライセンスまたは承認
OpenSSL 1.0.1j	<p>OpenSSL 1.0</p> <p>© 1998-2015 The OpenSSL Project.All rights reserved.</p> <p>ライセンスの問題</p> <p>OpenSSL ツールキットは引き続きデュアル・ライセンス対象です。つまり、OpenSSL ライセンスとオリジナルの SSLeay ライセンスの両方がツールキットに適用されます。実際のライセンスの本文については、以下を参照してください。実際には、両方のライセンスは、BSD 形式のオープン・ソース・ライセンスです。OpenSSL に関連するライセンス問題が発生した場合は、openssl-core@openssl.org までご連絡ください。</p> <p>OpenSSL License</p> <p>© 1998-2007 The OpenSSL Project.All rights reserved.</p> <p>Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. 3 All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSLプロジェクトで開発されたソフトウェアが含まれています (http://www.openssl.org/)。 4 The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.書面による許可については、openssl-core@openssl.orgにお問い合わせください。 5 Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project. 6 Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSLプロジェクトで開発されたソフトウェアが含まれています (http://www.openssl.org/)。 <p>THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.</p> <p>This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).</p>

表 6. 本製品に使用されているサードパーティ・ソフトウェアのリスト

コンポーネント	ライセンスまたは承認
OpenSSL 1.0.1j (続く)	<p>Original SSLeay License</p> <p>© 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)</p> <p>All rights reserved.</p> <p>This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).</p> <p>The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.</p> <p>This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).</p> <p>Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.</p> <p>If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.</p> <p>This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.</p> <p>Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. 3 All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The word "cryptographic" can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-). 4 If you include any Windows-specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) <p>THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.</p> <p>The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]</p>

© 2018 日本クエスト・ソフトウェア株式会社

ALL RIGHTS RESERVED.

本書には、著作権によって保護されている機密情報が記載されています。本書に記載されているソフトウェアは、ソフトウェア・ライセンスまたは機密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアは、当該契約の条項に準拠している場合に限り、使用または複製することができます。本書のいかなる部分も日本クエスト・ソフトウェア株式会社の書面による許可なしに、購入者の個人的な使用以外の目的で、複写や記録などの電子的または機械的ないかなる形式や手段によっても複製または転送することはできません。

本書には、Quest Software 製品に関連する情報が記載されています。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書または Quest Software 製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも付与されません。本製品の使用許諾契約の契約条件に規定されている場合を除き、QUEST SOFTWAREはいかなる責任も負わず、製品に関連する明示的、黙示的または法律上の保証(商品性、特定の目的に対する適合性、権利を侵害しないことに関する黙示的保証を含む)を否認します。QUEST SOFTWAREは、損害が生じる可能性について報告を受けたとしても、本ドキュメントの使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、必然的、懲罰的、特有または偶発的な障害(無期限、利益の損失、事業中断、情報の損失も含む)に対しても責任を負わないものとします。Quest Software は、本書の内容の正確性または完全性について、いかなる表明または保証も行わず、通知なしにいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。Quest Software は、本書の情報を更新する一切の義務を負いません。

本文書の使用に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本クエスト・ソフトウェア株式会社
宛先: 法律部門
東京都新宿区西新宿6-10-1
日土地西新宿ビル13F

日本国内および海外の事業所の情報に関しては、弊社のWebサイト(<https://www.quest.com/jp-ja>)を参照してください。

特許

高度なテクノロジーはQuest Softwareの誇りです。特許および出願中の特許がこの製品に適用される可能性があります。この製品に適用される特許に関する最新情報については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal>の弊社Webサイトを参照してください。

商標

Quest、Questロゴ、Join the Innovation、およびNetVaultは、日本クエスト・ソフトウェア株式会社の商標および登録商標です。Questの商標の詳細な一覧については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspx>を参照してください。その他すべての商標および登録商標は各社に帰属します。

凡例

- **警告:** 警告アイコンは、潜在的な資産の損害、個人の負傷または死亡の可能性を表しています。
- ⚠ **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを表しています。
- i **重要、メモ、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。